

静岡県議会議員

田口 章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053-447-3820
夜 053-440-7100

平成 24 年 8 月号

創ろう！元気な浜松＆静岡県

静岡県議会「6月定例会」報告

津波対策など喫緊の課題を議論

静岡県議会は6月22日から7月11日まで「6月定例会」を開催しました。

補正予算として、島田市の災害廃棄物本格受入の補助(1億5600万円)と空港経営の調査費(1800万円)が追加されました。

昨年の大震災に伴う緊急対策のような大きな議案はありませんでしたが、「震災特例法」の施行に伴い、H26～35年度までの10年間、個人県民税の均等割を年500円引き上げ、防災財源とする条例が可決されました。

負担増となりますが、しっかりと防災・減災対策を進めてまいりますので、ご理解をお願いいたします。

代表・一般質問では「地震・津波対策」や「新エネルギー」、「内陸フロンティア」など今年度の重点事業や、「教育行政のあり方検討会」を受けた項目が多く出されました。

今月号は最近の静岡県議会の話題をお知らせします。



◆民間寄附による防潮堤整備

一条工務店グループからの寄附を受け、静岡県と浜松市が協力して、浜松市の太平洋沿岸部(今切口～天竜川)17.5kmに防潮堤を整備することになりました。

事業主体は静岡県で、浜松市は土砂の確保を行うとともに、県と協力して住民の協力を得るための説明を進めることとなります。

川勝知事は答弁の中で、今後示される「第4次地震被害想定」を踏まえた高さを確保するとともに、「ただの堤防を造るだけに止まらず、景観に考慮した施設づくりを進め、有事と平時の両備えができるようにしたい」と述べました。

単に津波への備えだけでなく、日常も県民生活に役立つようなものを考えているようです。

一方、この17.5km区間は、地域によって微妙に状況が異なります。今切口から篠原までは海岸から程近いところに高さ8mほどの「浜名バイパス」がありますし、中田島砂丘のように保安林が海岸から離れているところもあります。

場所によって築堤形状を変えていく必要がありますので、県は浜松市とプロジェクトチームを立ち上げ、できるだけ早期に計画を進めていきます。

また、さらに別の民間企業からも寄附の申し出があったことから、「今後“基金”を設置し、県民のふるさと静岡への想いを受け入れるしくみを早急に検討する」とも答弁しました。

民間のみなさまの協力もいただきながら、県民の安全・安心につなげていきます。

◆教育行政あり方検討会

昨年度、不祥事が相次いだ静岡県教育委員会。それを受け、川勝知事の肝いりで、今年度、教育行政を根本から見直す「教育行政のあり方検討会」がスタートしました。

特徴は、所管する課が「教育委員会」ではなく、知事部局の「行政改革課」となっているところです。知事の改革への姿勢がうかがえます。

その第1回会合が6/16に行われ、百マス計算で有名な陰山英男氏や、自治体トップとして多くの行財政改革の実績を持つ前多治見市長など県内外の有識者が、教育委員会の課題について議論しました。

指摘された主な課題は「教員中心に構成されている教育委員会事務局の閉鎖性」、「知事と教育委員会の課題認識の共有化」、「教育委員会事務局と学校のコミュニケーション不足」、「教育現場の課題を顕在化させるしくみ」、「学校経営における地域との一層の連携」など多岐にわたりました。

「検討会」は年内にあと2回開催されます。教育の主役は子ども。よりよい教育環境を創っていくために、今後の議論に注目していきます。

◆定着するか？

「サムライ・シャツ 武襯衣(MUSHA)」

遠州織物を素材にした「サムライ・シャツ 武襯衣(MUSHA)」が、お目見えしました。

県議会も着用可となり、定例会初日の6/22には議長をはじめ19人の議員が着用しました(もちろん私も着用しました)。



着心地は軽くて涼やかです。色が地味ですが、これは「サムライ」をテーマにしたため、私は「硬派」で良いと思います。

価格が1万円を超えるため、さすがに誰もが気軽に…とはいきませんが、地域産業支援にご協力いただける方は、県のHPから注文できますので、ぜひ1着、お願いします。

◆さらなる行政改革に向けて「施策展開表」を導入

政務調査研究による提言がひとつ実現しました。(ちょっとマニアックですが…)

これまで県の行政経営システムの根幹は「業務棚卸表」というしくみでしたが、今年度から新たに「施策展開表」というしくみに変わりました。

これまでの「業務棚卸表」は、施策全体を鳥瞰し、事業の優先順位を付けるにはメリットあるしくみでしたが、個別の事業を客観的に評価するにはわかりにくく、私(議会)から見ると情報不足でした。

今年度からは「事業シート(評価表)」を付け加えますので、議会でも日頃から「事業仕分け」のようなチェックが可能になりました。

議会としてこうしたツールを活用して、県政のPDCAをまわしていかないとはいけません。また議会の活性化にも資していきたいと思えます。

◆55億円の“黒字”？ (平成23年度決算見込み)

(概要)

歳入決算額	A	1兆1,497億94百万円
歳出決算額	B	1兆1,349億48百万円
差引(形式収支) C=A-B		148億46百万円
繰越充当財源	D	92億70百万円
実質収支 E=C-D		55億76百万円
		(前年度 57億98百万円)

マスコミ報道では、実質収支55億円の“黒字”などと書かれていますが、私はこの表現は適切でないと思っています。

歳入の中には2000億円近い借金が含まれています。その上での“収支残”ですので、あたかも「県の財政は良好」と勘違いされるような“黒字”という表現を使うべきではありません。

なお、歳入のうち「県税収入額」は、前年度比△38億円の3979億円でした。

法人2税は前年比102.3%(+20億円)ですが、個人県民税は98.5%(△20億円)、地方消費税は96.9%(△15億円)と減っています。

震災後の企業動向を背景とした個人所得の減少や消費の減退がうかがえます。今後も欧州発の金融危機などから目が離せません。

トップランナーは日本を凌駕

中国視察報告(杭州市・武漢市・上海市)

【6/7(木)～13(水)】

静岡県議会では浙江省との相互交流事業として、1期生議員は任期4年の間に1度は浙江省を訪問することになっています。

今回は、浙江省との友好交流30周年記念事業の一環として行われた「静岡県・浙江省世界緑茶博覧会」の開催に合わせ訪問することになり、議長を団長に10人(1期生の半数)が公式訪問団として参加しました。

また最近、重点的に「中小企業の海外展開支援」に取り組んでいることから、静岡県から進出している企業等との意見交換を行いました。

杭州市は浙江省の省都。4月には浜松市と姉妹都市提携を結びました。人口は870万人で静岡県の倍以上、浜松市の10倍以上の規模です。

面積も静岡県の倍以上で中国のスケールの大きさをものごとります。

武漢市は湖北省の省都。こちらは人口1000万人。6/18から中国東方航空の静岡⇄上海便が武漢市まで延伸することから、今回調査しました。

中国は沿岸部の経済成長は鈍化していますが、内陸部の成長はいまだにすさまじく、湖北省の経済成長率は約13%とのこと。

自動車産業の集積地で工業系大学も多数立地しています。



【春野出身のJETRO 武漢事務所長(右)から
↓ 武漢の経済環境等についてヒアリング】



上海市はみなさんもご存知の大都市。すべての視察調査終了後に、通称「上海ヒルズ」を訪問し地上100階(474m)から上海市街地を眺めました。

23年ぶりの中国訪問でしたが、その変貌ぶりに言葉を失いました。

私は中国を見誤っていました。

「国全体のGDPでは抜かれたが一人あたりGDPはまだ低い」と考えていましたが、もうそんな指標の問題ではありません。

技術革新はどんどん進み、「B to B」や「B to C」の仕組みも日本より進んでいます。

電機産業が中国や韓国メーカーとの競争に苦労しているのが、よくわかりました。

もちろん貧富の差は大きく、人口に占める低所得層が圧倒的に多いのは事実でしょう。しかし、13億人のうち一握りかもしれませんが、トップ層は完全に日本を凌駕しています。

1月に訪れた東南アジアとは、また違った側面を見ることができました。今後の海外展開支援の一助にしていきます。

○主な訪問先

(有)丸新柴本製茶 様(牧之原市)
落合刃物工業(株) 様(菊川市)
南部化成(株) 様(吉田町)
岸本工業(株) 様(静岡市駿河区)
阿里巴巴集团(アリババ) 様(杭州市)
JETRO 上海事務所
JETRO 武漢事務所

【←杭州市の街角。すべて電動スクーター】



22年ぶりに「鈴鹿 8 時間耐久ロードレース」を見に行きました。

1984年から1991年春まで、私は営業マンとして鈴鹿に7年間住んでおり、毎年8耐を楽しんでいました。8耐前夜(夜中ですが)、私のアパートには日本各地から仕事を終えた仲間が集まったものでした。

当時から「ヨシムラ・スズキ」のファンで、クロスビー、ケビン・シュワーツ、辻本聡などなど、名だたるライダーの走りをワクワクしながら見ていたのを昨日のこのように覚えています。

やっぱりイイですね～。

当時と違って観客は適正化され(ホントかどうかわかりませんが、昔は“消防法違反”との話も聞きました)、遊歩道の砂ぼこりも、トイレの渋滞もありませんでしたが、集合マフラーから叩き出される音、オイルの焼けるニオイ、そして夏本番の暑さ…、20代のあの夏を思い出しました。

大半をヘアピンカーブで過ごしましたが、あっという間の8時間でした。

レースはホンダがワンツーフィニッシュ。スズキファミリーは、「ヨシムラ(→)」は残念ながら、目の前でリタイヤ。最上位は4位の「モト・マップ」でした。



闘争心あふれるライディングに、熱い思いでいっぱいになりました。

上の写真は「モト・マップ」のみなさんと。まん中はライダーの津田さん。

バイクが好きで入ったスズキ。私の原点はココです。初心にかえてガンバロウというパワーをいただきました。

【日々の活動はブログをご覧ください】

★創ろう！元氣な浜松&静岡県

田口章 で検索

6-7月の活動報告

- 6/1(金) 会派政調会
- 03(日) 消防団第一方面隊訓練・入子連球技大会
- 04(月) 会派・観光振興条例検討 PT
- 07(木)~13(水)中国(杭州・武漢・上海)視察調査
- 14(木) 会派総会
- 16(土) 教育行政のあり方検討会
- 18(月) 友好提携条例 検討委員会
- 22(金) 本会議・議員研修会
- 24(日) 浜松市消防 団・署合同訓練
- 26(火) 佐鳴湖をきれいにする会
- 27(水) 本会議
- 28(木) 本会議
- 29(金) 本会議
- 30(土) 佐鳴湖ふれあいウォーク

- 7/1(日) 入野地区凧揚会 総会
- 02(月) 本会議
- 04(水) 建設委員会
- 05(木) 建設委員会
- 06(金) 友好提携条例検討委員会
- 09(月) 自動車総連 政策コンベンション
- 11(水) 本会議・会派総会
- 12(木) 港湾整備促進大会
- 17(火)~18(水) 建設委員会 県内視察
- 19(木) PHP セミナー(東京)
- 25(水) 会派広報活動
- 26(金) 会派広報活動
- 27(金) 天浜線経営分析 PT
- 30(月)~31(火) 連合政策研究集會

8月の活動予定

- 01(水) 外部セミナー(公営企業会計)
- 03(金) 静岡県行財政改革推進委員会
- 04(土) 入野地区ふるさと夏まつり
- 05(日) 御前崎・牧之原地域交通基盤事業完成式典
- 07(火) 外部セミナー(歳入確保)
- 08(水)~09(木)外部セミナー(内部統制)
- 10(金) 会派政調会・勉強会
- 15(水) 平和記念式典
- 17(金) 外部セミナー(教育行政のあり方)
- 20(月) 会派総会
- 21(火) こども県議会
- 22(水) 入野公民館リニューアル記念式・津波防災対策講演会
- 23(木) 会派観光振興 PT
- 25(土) バイクのふるさと浜松 2012
- 26(日) スズキ労組研修会
(9/26 本会議・一般質問)

【あとがき】今年度「建設委員会」の副委員長になりました。建設委員会は県の「交通基盤部」を所管し、喫緊のテーマとして「地震・津波対策」をはじめ、「内陸フロンティア」、「土地利活用の推進」、「富士山静岡空港の経営問題」等、重要課題を抱えています。みなさまの声をしっかりと県政に伝えてまいります。(章)